

国立国語研究所学術情報リポジトリ

A Concordance of Spoken Language 2

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-02-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003138

国立国語研究所 言語処理データ集 4

話しことば 文脈付き用語索引(2)

『談話語の実態』データ

『話しことばの文型』データ

『速記叢書講談演説集』データ

解説書

国立国語研究所

1990

図書館備付

63958



国立国語研究所



1001863958

刊行のことば

このデータ集は、昭和62年3月に公刊した国立国語研究所言語処理データ集2「話しことば 文脈付き用語索引(1) - 『言語生活』録音器欄データ」につづくものです。データの内容は、国立国語研究所報告8『談話語の実態』と同18・23『話しことばの文型(1)(2)』の調査で収集したものの一部、および松村明氏蔵の『速記叢書講談演説集』をそれぞれ電子計算機に入力し、作成した文脈付き用語索引です。

『談話語の実態』のデータは、昭和27年、28年に東京における日常談話の録音資料で、カタカナで入力されています。また、『話しことばの文型』のデータは、昭和35年、38年の対話・独話資料であって、NHK放送その他のなるべく多様な文型が取れそうなものを資料としたものです。これはローマ字で入力されています。『速記叢書講談演説集』は、明治19年7月から翌年12月まで発行されたシリーズで、国語学的観点からは、当時の話しことば資料の一つとして位置付けられます。これは、漢字仮名混じりで入力されています。

「文脈付き用語索引」は、単なる「用語索引」とは異なり、ある語がどのような文脈で使われているかを示すものです。それぞれの語が実際にどのように使われているかを一覧することができます。話しことばの用語・文法などの言語研究のほか、言語情報処理の研究資料など、各種の研究に役立つものと信じます。

マイクロフィッシュとして刊行するのは、本による刊行に比べ、安価であり、保管に場所をとらないためです。本にすると、7,275ページになり、一冊500ページ余りとして15冊にもなりますから、マイクロフィッシュ・リーダーを使わなければならない不便さを考えても、この形の方が適当と思います。

この「話しことば 文脈用語索引(2)」を刊行するにあたり、『速記叢書講談演説集』の使用を許可された松村明氏に感謝の意を表します。

なお、この研究は、昭和55年～57年度の文部省科学研究費補助金(一般研究(A)代表者 斎賀秀夫)を受けました。また、この解説書の執筆は、中野洋(言語体系研究部第二研究室)と、山崎誠(同第一研究室)が担当しました。

平成2年3月

国立国語研究所長 野元 菊雄

話しことば 文脈付き用語索引(2)

『談話語の実態』データ

『話しことばの文型』データ

『速記叢書講談演説集』データ

解説書 目次

刊行のことば

1	はじめに	1
2	『談話語の実態』データについて	1
	(1) 原データについて	1
	(2) データ一覧	2
	(3) KWICの形式	5
	(4) マイクロフィッシュの索引	6
3	『話しことばの文型』データについて	7
	(1) 原データについて	7
	(2) データ一覧	8
	(3) KWICの形式	10
	(4) マイクロフィッシュの索引	11
4	『速記叢書講談演説集』データについて	12
	(1) 原データについて	12
	(2) データ一覧	12
	(3) データ形式の解説	13
	(4) マイクロフィッシュの索引	16

1. はじめに

本データ集は、昭和55年度～57年度の文部省科学研究費一般研究（A）の補助を受けて、「話しことばの計量国語学的調査・分析のための基礎的研究」（代表者：斎賀秀夫）によって作成したものである。本研究の概要およびその報告書については、国立国語研究所言語処理データ集2「話しことば 文脈付き用語索引（1）－『言語生活』録音器欄データ」（昭和62年3月）の解説書1～5頁を参照されたい。

本データ集は、それに続くもので、上記研究で収集・作成した文脈付き用語索引（KWIC）を公にするものである。収録したデータは、国立国語研究所報告8『談話語の実態』と同18・23『話しことばの文型(1)(2)』の調査で収集したものの一部、および松村明氏蔵の『速記叢書講談演説集』である。

2. 『談話語の実態』データの文脈付き用語索引について

(1) 原データについて

国立国語研究所報告8『談話語の実態』（秀英出版1955年）は、1952年と53年におこなった東京における日常談話の録音資料である。これはローマ字表記されており、文節、α単位などに相当する区切りが入っている。以下に原データの例を示す。詳しくは、報告8を参照されたい。

原データ例

話し手	聞き手	言葉	備考
10	5	ee/// kz	
5	10	don ^{ne} //osigoto//ga//yoi ^{yo} ne desu//ka// (Kp) M = (C) = -p =	
10	5	anô//ina//gakkô//o//sotugyô//simasita//kare//taipu ^{isuto} //mitsaina/// K3 M = M (D) =p =p = M 2D	
5	10	taipu//wa// ^{nankagetu} don oyari//ni//natta//ne//desu//ka// M = S p = (b) =p =	
10	5	4 ^s kagetu///	✓
5	10	sotugyô//wa//itu// ante no desu//ka// M = M =p =	
10	5	anô//kinô//datta//ne//desu// K3 M =p =p =	
5	10	kinô/// M	
10	5	ee/// kz	
		sâtô-oyari-ni-natta-ne-desu-ka	

(2) データ一覧

次頁の表はデータの概要を示すものである。表の見方を以下に示す。

- 号数 1行目の「4」は、話しことばにおける『談話語の実態』『話しことばの文型』を示す。ここでは無視されたい。
- タイトル 原資料中の題目をできるだけとった。
- 場所 原資料の場所を示すことばをとった。
- 地域 都道府県名を示す。
- 「姓」 ことなり数を示す。
- 「人数」
- 「年齢」 A：6歳以下
B：7～15歳
C：16～25歳
D：26～49歳
E：50歳以上
- 「職業」 厳密な分類で示すものではない。
- 録音年 S：昭和を示す。
- 時間 テープ収録時間を示す。文字化データではない。
- 語数 計算機入力分について示す。短い単位で数えた。原資料中の～等も含む。
- 文字化 文字化資料があることを示す。
- テープ 録音テープがあることを示す。
- KWIC 計算機入力され、文脈付き用語索引があることを示す。ただし、号数1桁目が同じデータはまとめられる。
- フィッシュ 文脈付き用語索引がマイクロフィッシュ化されていることを示す。

「談話語の実態」データ

号数	タイトル	場所	地域	人物			録音年	時間分	語数	文字化	74 K W C	74 フ 江	備考
				性	人数	年齢							
4009	T 家座談			男女	6	C0E	S27	30	6349	○	○	○	
4012	職安女子部	飯田橋のある職業紹介所	東京	女			S27	36	5113	○	○	○	
4013	職安男子部	飯田橋のある職業紹介所	東京	男			S27	30	3939	○	○	○	
4014	絵画館のおばさん	神宮外苑絵画館	東京	男女			S27	30	5663	○	○	○	
4015	A 美髪店	柳橋のある美髪店	東京	男女	7	DE	S27	30	3454	○	○	○	
4017	学生座談	三鷹市	東京	男		C			5807	○	○	○	
4018	I 夫妻	渋谷区代々木の1夫妻宅	東京	男女	2	D	S27	30	5761	○	○	○	
4019	N 家座談	三鷹市上連雀	東京	男女	6	C0E	S27	30	5401	○	○	○	
4024	友の会	三鷹市のある家	東京	女	7	A 0	S27	30	5300	○	○	○	
4025	無尽の会	三鷹市上連雀のある家	東京	女	8	A 0	S27	30	5683	○	○	○	
4026	浮世床 (1)	新宿区四谷のある理髪店	東京	男	7	DE	S27	37	4566	○	○	○	
4027	結婚式日申込 (1)	ある会館	東京	男女	2		S27	33	2042	○	○	○	
4028	接客用語について	日本橋のあるデパート	東京	男女			S27	30	7000	○	○	○	
4034	一研雑談	国語研究所	東京	男女					8478	○	○	○	
4040	松根屋	浅草橋の酒店	東京	男女	7		S27	30	5598	○	○	○	
4044	U 氏談	三鷹市のU 氏宅	東京	男女			S27	30	5062	○	○	○	
4045	独身者 (ラジオ)	NHK スタジオ	東京	男女			S27	30	7549	○	○	○	
4058	井戸端	ある井戸端		女					4137	○	○	○	
4064	三鷹女工	三鷹市のある工場	東京	女					5469	○	○	○	
4071	婦人指導者会議 (ラジオ)			男女					1178	○	○	○	
4109	ラジオニュース解説 (1)	NHK スタジオ	東京	男	1		S35	26	1641	○	○	○	
4116	テレビニュース解説 (1)	NHK スタジオ	東京	男	1				1418	○	○	○	

号数	タイトル	場所	地域	人物			録音年	時間分	語数	文字化	テープ	KRC	マイク	備考
				性	人数	年齢								
4117	テレビニュース解説(2)	NHKスタジオ	東京	男	1				1422	○	○	○	○	
4121	ラジオニュース(3)	NHKスタジオ	東京	男女					1544	○	○	○	○	
4159	じいさんばあさん(1)			男女		E			6446	○	○	○	○	
4161	ラジオ煙草座談			男					2718	○	○	○	○	
4163	結婚式日申込(3)			男女					3920	○	○	○	○	
4165	結婚式日申込(5)			男女					2457	○	○	○	○	
4188	M美容室	M美容室受付		女					949	○	○	○	○	
4169	ラジオ男性から女性へ			男	3				5745	○	○	○	○	
4170	ラジオ女性から男性へ			女	3				4597	○	○	○	○	
4175	男女学生座談(1)			男女		C			4468	○	○	○	○	
4176	男女学生座談(2)			男女		C			4619	○	○	○	○	
4180	ラジオニュース解説(2)	NHKスタジオ		男	1		S28	15	1545	○	○	○	○	
4181	ラジオニュース解説(3)	NHKスタジオ		男	1		S28	15	2418	○	○	○	○	
4184	ラジオ世相玉手箱			男					4914	○	○	○	○	
4188	ラジオ戯れに恋はずまじ			男女					4259	○	○	○	○	
4200	S女子大事務室	S女子大学の事務室		男女					5161	○	○	○	○	
4203	魚屋小僧	世田谷区上北沢のある家	東京	男女	5	C	S27	110	11415	○	○	○	○	
4204	トタン屋			男女		E	S27	24	4593	○	○	○	○	

(3) KWICの形式

KWICは、以下に示すように左側に出典、右側にキーワードを真ん中に配置した文脈付き用語索引を配置してある。

出典は、レコード番号(4桁の数字で示す。1桁目は、『談話語の実態』と『話しことばの文型』データを示すコードである数字の4。次の3桁はデータ番号)、次にデータの内容を端的に表すタイトル、更に、話者を表すコード(このコードが誰を表すかは、原文を見ればわかる)、最後に電子計算機処理に必要な6桁の語番号を示している。

用例は、キーワードのアルファベット順、キーワードが同じであればその次の語、それと同じであればその前の語のアルファベット順となっている。

KWIC例

コウ	タイトル	ワシヤ	コハシコウ	データ2	タシワコノ	シツタイ	1616°	エシヨウレイ
4121	ニュース3	01	166843	GAI	AIDA	NO	RO-KU	O
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	05	063898	IPP	KA	KOME	KURE	NEI
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	01	063553	KA	DOKONTO	IYA-	SI	NEI
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	01	060700	OKI	WA	NA	. SYO-	GA
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	05	064095	U	WA	KI	TATTE	ATARA
4019	Nケ・サ ^レ タン	01	011994	ZETTA	ITASU-	O	TORE	NEI
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	01	063238	SYO-	GA	NE-	YO	IRA
4040	マツネヤオウキ ^レ テン	05	064134	E	ZENZEN	IKI	YA	SI
4203	サカナヤコソ ^レ ウ		030915	A	NO	HITO	UN	ARE
4159	シイサンハ ^レ アサン	04	027454	. KIK	NAI	TOKO	WA	NEITYAN
4034	イチケンサ ^レ タン	03	085820	U	DESYO-	MATA	. KO-	NEKASI
4064	ミタカシ ^レ ヨウ	04	094561	ASI	TE	SOTO	E	DE
4064	ミタカシ ^レ ヨウ	04	094415	GA	AT	TE	ITUMO	NE-
4045	トクシンシヤ	01	136875	T	TERU	POTUDAMU	'TE	NEKO
4045	トクシンシヤ	03	136933	ZENZEN	IRA	NAI	YA	. NEKO
4045	トクシンシヤ	03	136943	UN	WATASI	WA	AMARI	NEKO
4019	Nケ・サ ^レ タン	02	016283	TE	. MI-	KO	. O-	KINA
4018	17サイ	01	003581	. O-	ISISAN	TOKO	NO	NEKO
4045	トクシンシヤ	01	136856	O	HITORI	NO	HITO	DE
4045	トクシンシヤ	01	136525	YAT	TA	NE	YAPPARI	. NEKO
4045	トクシンシヤ	05	136543	IRERYA	II	. BOKU	MO	NEKO
4045	トクシンシヤ	01	136926	AKARA	NAI	NO	WATASI	NEKO
4045	トクシンシヤ	04	136995	HIMA	ZYA	NAI	MONO	. NEKO
4045	トクシンシヤ	03	136983	ONNA	OTITUI	TE	NE	. NEKO
4034	イチケンサ ^レ タン	03	089274	N	DESU	KA	. IYA	MO-
4045	トクシンシヤ	04	136551	I	WA	NINGEN	YORI	WA
4045	トクシンシヤ	03	136514	NE	UN	NEKO	O	KAU
4045	トクシンシヤ	04	136510	KAT	TARA	DESU	NE	UN
4045	トクシンシヤ	01	136838	OKORA	DE	. EE	. INU	NEKO
4045	トクシンシヤ	05	136721	E	. I	MASU	YO	. ANO
4045	トクシンシヤ	03	136756	O-	. ZETTA	INI	. MO-	NEKO
4045	トクシンシヤ	05	136735	TERU	N	DA	. ONNA	TO
4045	トクシンシヤ	03	136569	I	MO	NINGEN	YORI	NE
4045	トクシンシヤ	01	136683	MON	. WATASI	WA	INU	NEKO
4169	タンセイカラ	04	143959	E	. DAKARA	SUGU	KO-	NEKO
4019	Nケ・サ ^レ タン	03	011832	E-	SI	TE	KON	ROKO
4044	Uシ・タン	01	041022	AN	GA	OTI	TA	TOKA
4009	Tケ・サ ^レ ツタン	05	009659	O	. AME	NI	SEISI	GA
4025	ムジ ^レ ンノカイ	06	126797	NAN	TOKA	IU	NO	NE
4025	ムジ ^レ ンノカイ	03	123434	MONO	NE	. TONIKAKU		
4026	ウキヨ ^レ トコ	04	082043	ARA-	. BU	ZYA	NAI	. NE
4203	サカナヤコソ ^レ ウ		030526	ETE	KURU	N	DESYO-	5
4203	サカナヤコソ ^レ ウ		029917	NIPPON	NI	NE	MO-	7

(4) マイクロフィッシュの索引

マイクロフィッシュは、1枚に左上から右下まで順に98コマ(頁)入っている。右下の最後のコマは、この索引である。

それぞれのマイクロフィッシュに何が入っているかは、フィッシュの上側に印刷しておいたが、以下の索引でも調べることができる。

『談話語の実態』データの索引

<原文>	番号	レコード番号
	01 ゴウスウ	4018~4024
	02 ゴウスウ	4024~4165
	03 ゴウスウ	4165~4170
	04 ゴウスウ	4170~4170

<KWIC>

番号	語	語	番号	語	語
05	~ .	19	N	~ NANKA
06	.	~ .	20	NANKA	~ NE
07	.	~ ARE	21	NE	~ NI
08	ARE	~ DAKE	22	NI	~ NO
09	DAKE	~ DESU	23	NO	~ OI
10	DESU	~ E	24	OI	~ SASERU
11	E	~ GAKKO-	25	SASERU~	SOBA
12	GAKKO-~	HO-GEN	26	SOBA	~ TA
13	HO-GEN~	IT	27	TA	~ TE
14	IT	~ KAIRI	28	TE	~ TO
15	KAIRI	~ KIMOTI	29	TO	~ UN
16	KIMOTI~	KYANPU	30	UN	~ WARUI
17	KYANPU~	MO	31	WARUI	~ YU
18	MO	~ N	32	YU	~ 994

3. 『話しことばの文型』データの文脈付き用語索引について

(1) 原データについて

国立国語研究所報告18『話しことばの文型(1)』(秀英出版1960年), 同23『話しことばの文型(2)』(秀英出版1963年)は, NHK放送のもの, この研究以前に録音されたもの, 新しく採集されたものからなるべく多様な文型がとれそうなもの, 対話資料と独話資料をとっている。これはカナ表記され, ほぼ文節単位に区切られている。詳しくは, 報告18を参照されたい。

原データ例

- 2 イ コムパルト カガ スカテ ミエマス エン ネー。
- 1 イ ヲヨヨ。
- 2 イ ヤスイ ノワ ネ。 ⁽⁴⁾ ~~ヨコ~~イクラノ ナンテ ネー。 アー ムウ ノワ モウ ワタシコガ テー シヨウガ ナイ ヲヨ テス エン ネー。
- 3 イ イイ テスワ ネ。 ~~オコ~~キシカ ネ。
- 1 イ ヲシカ マア ツスイテタラ⁽⁷⁾タ.. モウ ネ。 ⁽⁴⁾ウメテ マア コウ コノ クライ ノガ ネ。
- 2 2シヤク クライ ナラ...
- 3 マア ソノ テイト ナラ ネ。 イイ テス ムト ネ。
- 2 コノ クライ ミシカイ ノモ アル。
- 1 ウン。 ミシカイ ノモ ハイッテ マス。
- 2 テー カイ ノワ...?
- 3 カイ ノワ ヲヨ ネ。
- 2 |シヨウ クライ...?
- 3 イイエ, ソナ カク ナイ。 イ コノ クライ ノガ ネ。 カイノ ネ。
- 2 イ ミシカイ ノワ..
- 3 イ 2-3シヤク クライ..
- 2 イ ミシカク ナイ テスカ。
- 1 イ シカラ ソノ フン ハイッテルノ。
- 2 イ ハイッテル...
- 1 イ イ ハイッテ イッタン フンニ ナッテンノ。 イ シカラ ハル テスウ サエ ネ。 カケル¹ イイ ウケ...ソシテ アノ ミジン テー
アノ シマメ ヲロイチャエ¹ネ。 テウ カカリマセン。

(2) データ一覧(凡例は、2頁参照)

「話しことばの文型」データ

号数	タイトル	場所	地域	人			録音年	時間分	語数	文字化	K W C	フ ワ 江	備考
				性	人数	年齢							
4003	三人の女性			女	3	CDE	S32	29	3069	○	○	○	
4004	K高校生	ある高校	東京	男女	6	C	S30	30	3402	○	○	○	
4005	新聞人20の扉(ラジオ)			男女	8		S31	27	2619	○	○	○	
4006	歌手20の扉(ラジオ)			男女	5		S31	30	3424	○	○	○	
4007	私は誰でしょう(ラジオ)			男女			S32	30	2659	○	○	○	
4010	三人の青年			男	3	C	S32	22	4727	○	○	○	
4011	街頭録音(ラジオ)(1)はやり言葉(2)新内閣にのぞむ			男女			S32	40	4909	○	○	○	
4020	ことばの研究室(3)(ラジオ)	NHKスタジオ	東京	男女			S31	57	6332	○	○	○	
4021	“臺”雑談(1)			男	3		S32	30	3808	○	○	○	
4022	“臺”雑談(2)			男女	5		S32	32	3969	○	○	○	
4023	S女子大生			女		C	S27	30	3040	○	○	○	
4029	育て方の変遷について(ラジオ)	NHKスタジオ	東京	男女	4		S32	30	6703	○	○	○	
4031	多摩灘地を訪ねて(ラジオ)			男女			S27	15	933	○	○	○	
4032	名優のおもかげ(ラジオ)			男	4		S32	30	3251	○	○	○	
4035	夫の心(ラジオ)	NHKスタジオ	東京	男			S32	23	3090	○	○	○	
4037	T書店応接室	T書店の応接室	東京	男女			S32	30	4090	○	○	○	
4038	S家雑談			男女	3	D	S27	30	2796	○	○	○	
4039	対談・時評(ラジオ)	日本放送スタジオ	東京	男	2		S32	8	907	○	○	○	
4041	公聴部陳情	都公聴部		男女			S32	45	5039	○	○	○	
4042	警視庁補導	浅草六区街頭	東京	男女		C	S32	60	5918	○	○	○	
4043	税務署	国税庁苦情相談所	東京	男女			S32	30	4143	○	○	○	
4046	タクシー苦情	タクシー苦情委員会(電話口)		男女			S32	30	4452	○	○	○	

号数	タイトル	場所	地域	人物			録音年	時間分	語数	文字化	K W I C	ファイフ	備考
				性	人数	年齢							
4047	歯科大学生	ある歯科大学	東京	男	2	C	学生	S32	30	3540	○	○	○
4048	麻布主婦	麻布	東京	女	6	DE	主婦	S32	30	4205	○	○	○
4049	鎌倉主婦	鎌倉市	神奈川県	女	2	D	主婦	S32	30	4180	○	○	○
4050	研究室の電話(2)	国語研究所(電話口)	東京	男女			所員	S32	30	4056	○	○	○
4051	質屋(1)	ある質屋		男女			店員・客	S32	30	2457	○	○	○
4052	少年印刷工	ある印刷工場の従業員	東京	男	5	C	文選見習	S32	30	2421	○	○	○
4053	養老院	ある養老院	東京	男女	4	E		S32	35	4677	○	○	○
4054	下町家庭	神田のある家の座敷	東京	男女	7	BCDE	家族	S32	60	9417	○	○	○
4055	組合団交	ある役所	東京	男			組合員	S30	60	7945	○	○	○
4056	ラジオ家庭欄	放送スタジオ	東京	女			アナウンサー	S32	38	4204	○	○	○
4057	朝の訪問(ラジオ)			男女			アナウンサー	S32	30	3065	○	○	○
4059	家族会議(ラジオ)	NHKスタジオ	東京	男女			(仮説)家族	S32	53	6062	○	○	○
4060	気象台訪問	中央気象台		男			予報係長	S27	53	6270	○	○	○
4061	力と女らしさのために(ラジオ)			女						2838	○	○	○
4073	学校劇リハーサル	ある中学校		男女		B	先生・生徒	S33	60	6055	○	○	○
4074	ラジオニュース(1)	NHKスタジオ	東京	男	1		アナウンサー	S32	32	3141	○	○	○
4075	大石面接	国語研究所	東京	男女	7		所員・劇団員	S33	60	6242	○	○	○
4089	ラジオスポーツ座談会2種		東京	男			アナウンサー			5162	○	○	○
4139	テレビニュース解説(3)	NHKスタジオ	東京	男	1		解説者			5924	○	○	○
4140	テレビニュース解説(4)	NHKスタジオ	東京	男	1		解説者			1273	○	○	○
4141	水谷講義			男	1		教授			4835	○	○	○
4275	テレビニュース解説(5)	NHKスタジオ	東京	男女	5		解説者	S39	48	5066	○	○	○

(3) KWICの形式

KWICは、以下に示すように左側に出典、右側にキーワードを真ん中に配置した文脈付き用語索引を配置してある。

出典は、レコード番号(4桁の数字で示す。1桁目は、『談話語の実態』と『話しことばの文型』データを示すコードである数字の4、次にレコードの内容を端的に表すタイトル、最後に電子計算機処理に必要な6桁の語番号を示している。

用例は、キーワードのほぼ50音順、キーワードが同じであればその次の語、それも同じであればその前の語の50音順となっている。ほぼというのは、電子計算機内でのカナの順序(コード順)に従っているため、多少異なることを示している。すなわち、カタカナ文字は次の順序となっている。

。(句点)「、(読点)・(中黒)ヲァィゥー、<(+エオヤユョッー(長音記号) ! ¥ *) ; - / , % ? : = アイウエオカキクケコサシ (中略) ン (濁点) ° (半濁点) ABCDEFG (中略) Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

KWIC例

ゴウ	タイトル	ゴハシゴウ	データ2	ハナシコトバノ	フンケイ	-	2177	ヘ	エジ
									ヨウレイ
4057	アサノハウモン	116218	シ	チュウ	ソナンテ	スカネ	エ	ネンカ	ラ
4047	シカタ	イカ	クセイ	069549	テ	ラクナンタ	ソノ	カワリナ	ネンカ
4089	スホ	ーツサ	タン	165170	トワ	ア	ワレワレノ	ホト	シテモ
4011	ナイカクニソム	022457	タ	イノ	ニムワ	イシハ	シサンノ	アリマシタ	トウナイノ
4011	ナイカクニソム	022496	ク	ラ	セラレマシタ	トキカラ	コレヲ	ツマナクチャナ	ホクナ
4037	タイショウカン	042213	ナル	...	ナル	ツテ	コウカ	ソノ	シフンノ
4052	インサツコウ	087364	タ	ヨ	マタ	イヨネ	マタ	ネ	ツマナクチャナ
4059	カゾ	クカイキ	:R	159215	ホ	ショウセイト	トカネ	ロウジン	ホクナ
4059	カゾ	クカイキ	:R	159156	イル	クニナラ	トモカク	ロウジン	ホクナ
4049	カマクラシユフ	078945	ケ	キョク	アレシ	ナ	イカシラ	ホクナ	ホクナ
4031	タマホ	チ	038968	ノ	ミス	ヲ	ホセキニ	ソソイテ	ワ
4061	シ	ョセイサ	タン	124018	ツ	テ	アノ	コウ	チョット
4032	メイコウ	ノオモカケ	0144668	エ	タ	テ	ス	ネ	イ
4052	インサツコウ	086063	ラ	ツ	イテ	アル	イテイル	タ	ケジ
4056	ラシ	オ	カテイラン	112152	サ	イ	マシヨウカ	モウ	アタクシ
4047	シカタ	イカ	クセイ	069897	ナイ	ヨ	フウン	タ	ケト
4048	アサ	フ	シユフ	073355	ツ	ヤ	ッコシイ	クミトリ	タ
4047	シカタ	イカ	クセイ	069550	ン	タ	ソノ	カワリナ	ネンカ
4010	サンニン	セイネン	019889	テ	ス	ネ	ア	アレワネ	...
4055	クミアイ	ンコウ	107151	ス	ヨ	オ	メ	ナンソ	ヤル
4054	シタマ	チカテイ	100627	シ	キフ	...	オ	モシロイ	エ
4057	アサノハウモン	116219	ソ	ナン	テ	スカネ	エ	ネンカ	ラ
4047	シカタ	イカ	クセイ	069314	タ	コウ	ツ	モウ	ネン
4011	ナイカクニソム	021193	テナク	ナ	ツ	チャイ	マスシ	ネ	テ
4041	チンシ	ョウ(2)	050350	ネ	エ	ソ	イテ	ト	イ
4011	ナイカクニソム	021153	モ	ヒ	ン	ホ	ウシ	ョ	タ
4048	アサ	フ	シユフ	072259	シ	チャ	タ	メ	タ
4275	ニュー	スカイ	セツ:5	173147	カ	ラ	ト	キョ	テ
4139	ニュー	スカイ	セツ:3	182451	オ	ナ	シ	ョウ	ナ

(4) マイクロフィッシュの索引

マイクロフィッシュは、1枚に左上から右下まで順に98コマ(頁)入っている。右下の最後のコマは、この索引である。

それぞれのマイクロフィッシュに何が入っているかは、フィッシュの上側に印刷しておいたが、以下の索引でも調べることができる。

『話しことばの文型』データの索引

<原文>

33 ゴウスウ 4003~4046

34 ゴウスウ 4046~4074

35 ゴウスウ 4074~4035

<KWIC>

36 「ア	～	アア	51 ソウム	～	ソレデ
37 アア	～	アノ	52 ソレデ	～	ダケ
38 アノ	～	イー	53 ダケ	～	テスウ
39 イー	～	イマス	54 テスウ	～	デレハ
40 イマスカ	～	ウン	55 デレバ	～	ドウゾ
41 ウン	～	エエ	56 ドウゾ	～	ナマエ
42 エエ	～	オハナシ	57 ナマエ	～	ネ
43 オハナシ	～	カナ	58 ネ	～	ハア
44 カナ	～	キテナキ	59 ハア	～	ヒジョウニ
45 キテナク	～	コウ	60 ヒジョウニ	～	ホウ
46 コウ	～	コノ	61 ホウ	～	マトメ
47 コノ	～	サンシ	62 マトメ	～	モノ
48 サンジ	～	シンセイ	63 モノ	～	ユウ
49 シンセイ	～	セキ	64 ユウ	～	ワタシ
50 セキ	～	ソウム	65 ワタシ	～	スポーツ

4. 『速記叢書講談演説集』

(1) 原データについて

『速記叢書講談演説集』は、1886年（明治19年）7月から翌年12月にかけて発行されたシリーズで、国語学的観点からは、当時の話しことば資料のひとつとして位置付けられよう。編著者の林茂淳記すところの緒言によると、出版の主旨は、大家の講談演説を筆記した書物はまだ世に少なく、たとえあったとしても文飾を加えて漢文直訳の文体になっている。西洋では、速記術が発達して話したそのままのものが出版されている。だから、日本でもこのような本を出して、大家の講演を広く民衆にひろめ、速記術の効用を周知させるとともに、この書を講談演説の規範として、原文一致運動の推進に役立てたいということである（大意）。

(2) データ一覧

原文は、7冊278ページあり、次のような内容の演説が収められている。各題目の後の年月がその演説の行われた時期である。

第1冊（明治19年7月発行）

「漢字やぶり」外山正一（明治17年11月）

「地球の位置」寺尾壽（明治18年3月）

第2冊（明治19年10月発行）

「仮名世界の準備」近藤真琴（明治18年1月）

「半開化は衛生の害」渡辺鼎（明治19年6月）

「李国の司法制度を説き併せて所感を述ぶ」三好退蔵（明治19年7月）

「法律と経済との関係」細川潤次郎（明治19年7月）

「基督教は社会進歩の為める必要なり」G. F. Verbeck（明治19年9月）

第3冊（明治19年12月発行）

「ノルマントン号船長の罪を鳴らさんとせば宜しく先づ証拠蒐集に尽力すべし」薩捶正邦（明治19年11月）

「真正の改良」高田早苗（明治19年11月）

「ノルマントン号沈没事件を論ず」大谷木備一郎（明治19年11月）

第4冊（明治20年4月発行）

「人類的の欲をして動物的の欲を制せしむべし」加藤弘之（明治18年6月）

「飲酒より生ずる弊害を調査する方法を論ず」杉亨二（明治18年12月）

「神学卒業生の心得」G. F. Verbeck (明治19年6月)

「日本小説改良論」関直彦 (明治20年1月)

「行政法大意第1回」宇川盛三郎 (明治20年2月)

第5冊 (明治20年4月発行)

「学問と宗教との極点を論ず」原担山 (明治18年10月)

「飲酒の害」中村正直 (明治19年3月)

「我が日本帝国人民の将来を前知するの説及び其の方法」杉亨二 (明治20年1月)

「基督教と婦人の地位」井深梶之助 (明治20年3月)

「行政法大意第二回」宇川盛三郎 (明治20年3月)

第6冊 (明治20年8月発行)

「彗星の話」寺尾壽 (明治18年10月)

「小説と演劇との関係」小中村清矩 (明治20年2月)

「行政法大意第三回」宇川盛三郎 (明治20年5月)

「専修学校生徒卒業式祝辞」加藤弘之 (明治20年7月)

第7冊 (明治20年12月発行)

「監獄論」宇川盛三郎 (明治20年10月)

(3) データ形式の解説

A. データは電子計算機により処理している。計算機に入力するにあたって、以下のような処置を施している。

①データに含めなかった部分は、各冊の表紙、緒言、奥付、各冊の第1ページ第1行目のシリーズのタイトルと発行年月を記した部分、欄外部分全体 (ページ、タイトル、題目) 各演説の終わりの「林茂淳筆記」「市東謙吉筆記」などの筆記者の署名、〔 〕に入った割り注の部分 (〔人々拍手喝采〕〔人々笑ヲ含ム〕〔其ノ筆記ハ第一冊ニ載ス〕など筆記者の注釈)、図の表題、傍点、ルビ。

②原文は漢字が旧字体であるが、新字体に改めた。平仮名の「は」「ハ」, 「に」「ノ」などの文字遣いの区別はしていない。なお、句点 (。) は、ピリオドで、読点 (、) はカンマ (,) で置き換えた。

③調査単位は、 β 単位に準拠した。見出し語は原文が旧仮名遣いで表記されていない限り現代仮名遣いとした (外来語は、ルビに基づいたよみを見出し語とした。ルビの読みは、

眼が益々遠ざかる様よりまして我々の世界の外にも別に之に似たものが有るといふことが知れる様になりなす。先づ其れからお話し致しませう。天の中にありて一番我々の眼より著くもの天陽、月、星、ア、マノガハなど有りませ。其の中一番近いのは月で有りませ。この月を云ふもの望遠鏡の聞けます餘ほど前からして圓いもので時とまてハ、腐けたり時とまてハ、滿ちたりするもので有ると云ふことハ、知れて居ました。昔の人の知ッて居ッたのハ、先づ其の位ももので、其れから望遠鏡で月を見るときハ、妙なもの、肉眼で見ても唯ボツヤリして何だか分らず、俗に兎が餅を搗くのだと言ひませ。處が余程ぼツきり見なすして全く高い山や深い谷などで有りませ。山の川だの谷だの岡だのハ、地理書に有ること、で地理書とハ、地球の學問だと思ッて居た。月の表面も山だの谷だのが有るから、月が地球と似たものでは有るまいか。第一番に地球の様にも圓い、其れに谷だの山だのが有る處がよく似て居る、其れでハ、大ききハ、位のだらうと云ふと、これハ、其の遠さが知れない間ハ、分りませぬ。總て物ハ、同じ大ききよ見なくても、大きくて遠いものも有れば、小さくて近いものも有るから、唯見た計りでハ、大きいハ、小さいの論ハ、立ちませぬ。先づ距離を測るのが第一番のこと、で有りませ。そこで月までの距離ハ、と言ふと、現に既に測量して有りませ。測量を言ふと、ハ、ドンナことハ、と言ひませと、地球の中心から月の中心まで何里あると云ふことを調べるので有りませ。ドツと云て、其れが知れるだらう。物さしをめてたり、間繩を打ッたりする譯にハ、

できるだけ代表形に取り入れている)。

B. KWICの見方

このデータは、表記形での同語異語判別を施した段階のデータなので、活用する語、ゆれのある語などは必ずしも1箇所には集まっていないので探す際に注意を要する。配列は、代表形の50音順である。代表形が同じ場合は、判別情報のJISコード順、更に後の語の50音順、語番号順と続く。代表形欄は、見やすくするため、語が変わるごとに印字し、それ以外は基本的に空欄にしてある。但し、助詞など何ページも同じ語が続く場合があるので、語が変わらなくてもページ頭には()に入れて代表形を示した。

KWIC例

(速記叢書講談演説集)

代表形	判	ページ	行	出現文脈
きき	聴	165	07	院で演説しましたところが社員の方でお
	聴	165	09	ならないことだからドウか其の積りでお
	聴	196	03	で、東艇会へ這入つたり、此の講談会へ
きき	聞	073	08	格別の思ひ付きも御坐んせぬから甚だお
	聞	002	02	お前は仮名の会の会員ださうだが見込を
	聞	174	13	になりませんが経済学者は之を何と見たか
	聞	098	09	悲しまぬものはなく殊に其の非命の死を
	聞	058	11	諸君が東京より奏楽者を聘して奏楽をお
	聞	130	13	ntといふお人が申されましたことをお
	聞	135	08	子たちに仰せ置かれた所は多分諸君皆お
	聞	164	14	艘三隻をして前往駐守せしむと。客之を
	聞	123	06	るさうです。私は先刻始めて其の話を
	聞	156	01	にあるので、ごすけれども先づ此の通り
	聞	227	04	画と云ふことが大事で御坐います。私の
	聞	254	13	六犯と云ふやうな者が随分あるやうにも
	聞	137	04	説小生は妙な問題を持ち出して諸君のお
きき	義	111	02	むるなれば我輩はたゞ船長の卑怯にして
ききかちり	聞	060	11	利益をも考へず、たゞ権利とか自由とか
ききめ	キ	138	17	することにも向つて参ります。また其の
	キ	138	14	善懲悪が主眼なれば面白いに連れて其の
ききめ	効	052	01	は順序の悪いことで順序が悪いときには
	効	266	14	感化をつとめます。而して感化も其の
	効	034	03	と申すものはナルコチカと言つて麻酔の
	効	225	04	ら多くの年月を重ねなければ逆も改良の
ききょう	帰	239	09	二十八日の午後五時に上野着の汽車にて
	帰	239	14	とで有りました。此の旅行を畢りまして
	帰	258	15	有ります。現在は引取人の無い者、又は
	帰	273	16	りまして行きどころが無いとか、又は
ききょう	義	099	16	義侠の勇氣に富み殊に危難の場合に臨み
	義	100	02	同等の人間と考へたるならば其の平常、
	義	099	12	につきあつて見たことは無いが其の最も
	義	099	13	人といふものは災難の場合に当りて殊に
	義	099	15	大なる責任のあるものにして平常はこの
ききん	餓	196	13	きはしないか、宵の明星が出たによつて
きく	聞	164	07	。今其の文を読みませう。余亞丁に在り
	聞	006	11	子の主義はドウか會子の主義はドウかと
	聞	122	16	からドンな病気が起つたかと云ふことを
	聞	122	17	ンな罪を犯した者が有るか云ふことを
	聞	125	07	のは何で御坐りませうか。伝道師が度々
	聞	102	11	くない。然るに外国に遊んだ人の話を
	聞	057	12	和川越熊谷深谷行田到る所衛生会の声を
きくん	貴	138	04	貰ひました処、其の医者先生の申すには
きけ	聞	093	11	し各新聞紙がこれまで喋々して居る所を
	聴			なすつた方は至つて少なかつたと申すこと、然
	聴			なすつて下さい。して其の題は「我が日本帝国
	聴			にお出でなさる方などは全く別儀で御坐ります
	聞き			苦しい御坐んせう。先刻も卒業諸君の中で法律
	聞き			たいとの仰せ。私は別に見込は無いと申したら
	聞き			たいものと存じます。さて今、申したやうな訳
	聞き			ては流涕長大息いたさぬものは殆んどあります
	聞き			なさることも出来ると云ふのは何であります
	聞き			なされ。「天地の間に二つの感心なものあり。
	聞き			なされたで御坐りませう。即ち「万国を周りて
	聞き			猶ほ以て戯れと為す。至れば則、果して英嶺の
	聞き			ましたが実に妙な慣はしてはありませぬか、日
	聞き			ました。此の通り学問があるが極点といふと極
	聞き			ました所では日本の極古いときは郡に分れまし
	聞き			ます。前に申しました如き次第で有りませ
	聞き			を煩はすは小説改良論で御坐りますが今日、世
	義気			に乏しきを悪み我が同胞及び印度人の不幸なる
	聞きかちり			の無理屈を唱ひ父兄の言ふことをも用ひ
	キ>メ			の深淺を云ひましたら小説の方が固くるしい
	キ>メ			も多い。また社会を諷刺する小説の如きも大
	効が無い			が無い。例へば仮りに秦の始皇の様な大決断の人
	効があらはれ			があらはれましてと看認めらるゝときに至りまし
	効の有るもの			の有るもので之が為めに害を受けぬ者は有りませ
	効は頭は			は頭はれますまい。さて、改良のことに付ての可
	帰京			いたしました。此の巡回に費しました日数は都
	帰郷			しますと、スタチスチック社社員、明治法律
	帰郷			旅費の無い者は別房留置者と名づけまして監獄
	義侠			旅費が無いとか足りないとか云ふので抛る無く
	義侠			心の発達するものなることを考へ而して二十五
	義侠			に富むの商売柄から考へて見ても決して彼の様
	義侠			の心に富むで居るものなることは世間の既に認
	義侠			の心を生ずるものなること論ずるを俟たず。且
	義侠			の勇氣に富み殊に危難の場合に臨み義侠心の発
	餓鐘			でも有りはしないか」などと思ふ人は一人も無
	聞く			数年前、法君那波倫第三、提督をして船を駛せ
	聞く			となかなか出来ない、いつでも本を持つて一枚
	聞く			とか、警察官に懇意の人なら酒の上からドンな
	聞く			とか田舎に居る人は濁酒を多く飲む者はドウい
	聞く			所の反対論といふものはドコから起つて来るも
	聞く			に西洋で日本の実際の有様を知つて居る人は万人
	聞く			のみならず今日の如きも来会せらるゝ者一千余
	貴君			にはモルヒネを上げたい処なれども体も虚弱で
	聞け			ば或ひは謀殺に当ると言ひ或ひは故殺に当ると

(4) マイクロフィッシュの索引

マイクロフィッシュは、1枚に左上から右下まで順に98コマ(頁)入っている。右下の最後のコマは、この索引である。

それぞれのマイクロフィッシュに何が入っているかは、フィッシュの上側に印刷しておいたが、以下の索引でも調べることができる。

『速記叢書』データの索引

<原文>

番号 原文

66 1頁~71頁

<KWIC>

番号	語	語	番号	語	語
67	あー	~ いろいろ	76	なり	~ ぬ
68	いわゆる	~ が	77	ぬ	~ の
69	が	~ くらい	78	の	~ ばんき
70	くらべ	~ さいばん	79	ばんじ	~ ますます
71	さう	~ しんたい	80	まする	~ もの
72	しんぼ	~ だ	81	もの	~ を
73	たい	~ て	82	を	~ .
74	て	~ と	83	.	~ 」
75	と	~ なり			

(5) 原データは、松村明氏所蔵のものを使用させていただいた。記して、謝意を表す。
また、このデータの作成には、香川大学教授 土屋信一(作成時国立国語研究所室長)・
上越教育大学助教授 覇岡昭夫(作成時国立国語研究所室長)・言語体系研究部第二研究
室長中野洋、および同第一研究室研究員 山崎誠が担当し、都立高校教諭 佐久間峻輔氏
の協力を得た。

国立国語研究所 言語処理データ集 4

話しことば 文脈付き用語索引 (2)

『談話語の実態』データ

『話しことばの文型』データ

『速記叢書講談演説集』データ

平成2年3月

国立国語研究所

〒115 東京都北区西が丘3-9-14

電話 03-900-3111

UDC 809.56-085.5(083.87)

NDC 809

本書の市販品販売所

(〒113) 東京都文京区本郷1-10-11 (03) 815-1231(代)

日本マイクロ写真株式会社

国立国語研究所刊行物

報告書

1) 八丈島の言語調査	秀英出版刊	品切れ
2) 言語生活の実態――白河市および付近の農村における――	〃	〃
3) 現代語の助詞・助動詞――用法と実例――	〃	3090円
4) 婦人雑誌の用語――現代語の語彙調査――	〃	品切れ
5) 地域社会の言語生活――鶴岡における実態調査――	〃	〃
6) 少年と新聞――小学生・中学生の新聞への接近と理解――	〃	〃
7) 入門期の言語能力	〃	〃
8) 談話語の実態	〃	〃
9) 読みの実験的研究――音読にあらわれた読みあやまりの分析――	〃	〃
10) 低学年の読み書き能力	〃	〃
11) 敬語と敬語意識	〃	〃
12) 総合雑誌の用語（前編）――現代語の語彙調査――	〃	〃
13) 総合雑誌の用語（後編）――現代語の語彙調査――	〃	〃
14) 中学年の読み書き能力	〃	〃
15) 明治初期の新聞の用語	〃	〃
16) 日本方言の記述的研究	明治書院刊	〃
17) 高学年の読み書き能力	秀英出版刊	〃
18) 話しことばの文型（1）――対話資料による研究――	〃	2060円
19) 総合雑誌の用字	〃	品切れ
20) 同音語の研究	〃	〃
21) 現代雑誌九十種の用語用字（1）――総記および語彙表――	〃	3090円
22) 現代雑誌九十種の用語用字（2）――漢字表――	〃	3090円
23) 話しことばの文型（2）――独話資料による研究――	〃	品切れ
24) 横組みの字形に関する研究	〃	〃
25) 現代雑誌九十種の用語用字（3）――分析――	〃	3090円
26) 小学生の言語能力の発達	明治図書刊	品切れ
27) 共通語化の過程――北海道における親子三代のことば――	秀英出版刊	〃

28) 類義語の研究	〃	〃
29) 戦後の国民各層の文字生活	〃	412円
301.1) 日本言語地図(1)	大蔵省印刷局刊	品切れ
日本言語地図(1) <縮刷版>	〃	17510円
302.2) 日本言語地図(2)	〃	品切れ
日本言語地図(2) <縮刷版>	〃	17510円
303.3) 日本言語地図(3)	〃	品切れ
日本言語地図(3) <縮刷版>	〃	17510円
304.4) 日本言語地図(4)	〃	品切れ
日本言語地図(4) <縮刷版>	〃	17510円
305.5) 日本言語地図(5)	〃	品切れ
日本言語地図(5) <縮刷版>	〃	17510円
306.6) 日本言語地図(6)	〃	品切れ
日本言語地図(6) <縮刷版>	〃	17510円
31) 電子計算機による国語研究	秀英出版刊	品切れ
32) 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(1) —— 親族語彙と社会構造 ——		
33) 家庭における子どものコミュニケーション意識	〃	361円
34) 電子計算機による国語研究(Ⅱ) —— 新聞の用語用字調査の処理組織 ——		品切れ
35) 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(2) —— マキ・マケと親族呼称 ——		
36) 中学生の漢字習得に関する研究	〃	〃
37) 電子計算機による新聞の語彙調査	〃	〃
38) 電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅱ)	〃	〃
39) 電子計算機による国語研究(Ⅲ)	〃	〃
40) 送りがな意識の調査	〃	〃
41) 待遇表現の実態 —— 松江24時間調査資料から ——	〃	〃
42) 電子計算機による新聞の語彙調査(Ⅲ)	〃	〃
43) 動詞の意味・用法の記述的研究	〃	6180円
44) 形容詞の意味・用法の記述的研究	〃	4120円
45) 幼児の読み書き能力	東京書籍刊	4635円
46) 電子計算機による国語研究(Ⅳ)	秀英出版刊	721円

47) 社会構造と言語の関係についての基礎的研究(3)――性向語彙と価値観――		
48) 電子計算機による新聞の語彙調査(IV)	〃	品切れ
49) 電子計算機による国語研究(V)	〃	〃
50) 幼児の文構造の発達――3歳～6歳児の場合――	〃	〃
51) 電子計算機による国語研究(VI)	〃	〃
52) 地域社会の言語生活――鶴岡における20年前との比較――	〃	1854円
53) 言語使用の変遷(1)――福島県北部地域の面接調査――	〃	2575円
54) 電子計算機による国語研究(VII)	〃	1030円
55) 幼児語の形態論的な分析――動詞・形容詞・述語名詞――	〃	品切れ
56) 現代新聞の漢字	〃	6180円
57) 比喩表現の理論と分類	〃	6180円
58) 幼児の文法能力	東京書籍刊	5665円
59) 電子計算機による国語研究(VIII)	秀英出版刊	品切れ
60) X線映画資料による母音の発音の研究――フォネーム研究序説――		〃
61) 電子計算機による国語研究(IX)	〃	〃
62) 研究報告集(1)	〃	1751円
63) 児童の表現力と作文	東京書籍刊	6180円
64) 各地方言親族語彙の言語社会学的研究(1)	秀英出版刊	品切れ
65) 研究報告集(2)	〃	3090円
66) 幼児の語彙能力	東京書籍刊	8240円
67) 電子計算機による国語研究(X)	秀英出版刊	品切れ
68) 専門語の諸問題	〃	4120円
69) 幼児・児童の連想語彙表	東京書籍刊	7004円
70-1) 大都市の言語生活――分析編――	三省堂刊	品切れ
70-2) 大都市の言語生活――資料編――	〃	品切れ
71) 研究報告集(3)	秀英出版刊	4944円
72) 幼児・児童の概念形成と言語	東京書籍刊	7004円
73) 企業の中の敬語	三省堂刊	品切れ
74) 研究報告集(4)	秀英出版刊	〃
75) 現代表記のゆれ	〃	〃

76) 高校教科書の語彙調査	〃	〃
77) 敬語と敬語意識――岡崎における20年前との比較――	三省堂刊	〃
78) 日本語教育のための基本語彙調査	秀英出版刊	6180円
79) 研究報告集(5)	〃	4326円
80) 言語行動における日独比較	三省堂刊	品切れ
81) 高校教科書の語彙調査(2)	秀英出版刊	5150円
82) 現代日本語動詞のアスペクトとテンス	〃	5150円
83) 研究報告集(6)	〃	4326円
84) 方言の諸相――「日本言語地図」検証調査報告――	三省堂刊	品切れ
85) 研究報告集(7)	秀英出版刊	〃
86) 社会変化と敬語行動の標準	〃	9270円
87) 中学校教科書の語彙調査	〃	5150円
88) 日独仏西基本語彙対照表	〃	8755円
89) 雑誌用語の変遷	〃	7210円
90) 研究報告集(8)	〃	品切れ
91) 中学校教科書の語彙調査(II)	〃	5150円
92) 談話行動の諸相――座談資料の分析――	三省堂刊	2884円
93) 方言研究法の探索	秀英出版刊	7210円
94) 研究報告集(9)	〃	3605円
95) 児童・生徒の常用漢字の習得	東京書籍刊	8034円
96) 研究報告集(10)	秀英出版刊	5150円
97) 方言文法全国地図	大蔵省印刷局刊	32000円
98) 児童の作文使用語彙	東京書籍刊	9800円
99) 高校・中学校教科書の語彙調査分析編	秀英出版刊	5150円
100) 日本語の母音、子音、音節――調音運動の実験音声学的研究――		
101) 研究報告集(11)		
高校生と新聞	秀英出版刊	品切れ
青年とマスコミュニケーション	金沢書店刊	〃

論集

ことばの研究（第1-5集）

秀英出版刊 品切れ

資料集

- | | | |
|----------------------------|---------|--------|
| 1) 国語関係刊行書目――昭和17年～昭和24年―― | 秀英出版刊 | 品切れ |
| 2) 語彙調査――現代新聞用語の一例―― | 〃 | 〃 |
| 3) 送り仮名法資料集 | 〃 | 〃 |
| 4) 明治以降国語学関係刊行書目 | 〃 | 〃 |
| 5) 沖縄語辞典 | 大蔵省印刷局刊 | 〃 |
| 6) 分類語彙表 | 秀英出版刊 | 1850円 |
| 7) 動詞・形容詞問題用例集 | 〃 | 1751円 |
| 8) 現代新聞の漢字調査（中間報告） | 〃 | 品切れ |
| 9) 牛店雑談安愚楽鍋用語索引 | 〃 | 1545円 |
| 10) 方言談話資料（1） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（2） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（3） | 〃 | 品切れ |
| 方言談話資料（4） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（5） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（6） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（7） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（8） | 〃 | 6180円 |
| 方言談話資料（9） | 〃 | 品切れ |
| 方言談話資料（10） | 〃 | 〃 |
| 11) 日本言語地図語形索引 | 大蔵省印刷局刊 | 1545円 |
| 12) 日本方言親族語彙資料集成 | 秀英出版刊 | 24000円 |

研究部資料集

- | | | |
|---------------|-------|-------|
| 幼児のことば資料（1-2） | 秀英出版刊 | 3914円 |
| 幼児のことば資料（3-6） | 〃 | 6180円 |

言語処理データ集

- 1) 高校教科書文脈付き用語索引 日本マイクロ写真 36050円
2) 話しことば文脈付き用語索引(1) 日本マイクロ写真 51500円
――『言語生活』録音器欄データ――
3) 現代雑誌九十種の用語用字/五十音順語彙表・採集カード 東京都板橋福祉工場
231750円

国語辞典編集資料

- 国定読本用語総覧(1) 三省堂刊 25750円
国定読本用語総覧(2) // 28840円
国定読本用語総覧(3) // 28840円
国定読本用語総覧(4) // 29000円

国語シリーズ別冊(3~4)

- 日本語教育指導参考書(4~15)
日本語教育映画基礎編(1~30)
日本語教育映画関連教材(1~6)
日本語教育映像教材中級編(1-18)
基礎日本語活用辞典インドネシア語版

- 国語年鑑 1989年版 秀英出版刊 8100円
国立国語研究所年報 14 //
国立国語研究所三十年の歩み //

1. *...*
 2. *...*
 3. *...*
 4. *...*
 5. *...*
 6. *...*
 7. *...*
 8. *...*
 9. *...*
 10. *...*
 11. *...*
 12. *...*
 13. *...*
 14. *...*
 15. *...*
 16. *...*
 17. *...*
 18. *...*
 19. *...*
 20. *...*
 21. *...*
 22. *...*
 23. *...*
 24. *...*
 25. *...*
 26. *...*
 27. *...*
 28. *...*
 29. *...*
 30. *...*
 31. *...*
 32. *...*
 33. *...*
 34. *...*
 35. *...*
 36. *...*
 37. *...*
 38. *...*
 39. *...*
 40. *...*
 41. *...*
 42. *...*
 43. *...*
 44. *...*
 45. *...*
 46. *...*
 47. *...*
 48. *...*
 49. *...*
 50. *...*
 51. *...*
 52. *...*
 53. *...*
 54. *...*
 55. *...*
 56. *...*
 57. *...*
 58. *...*
 59. *...*
 60. *...*
 61. *...*
 62. *...*
 63. *...*
 64. *...*
 65. *...*
 66. *...*
 67. *...*
 68. *...*
 69. *...*
 70. *...*
 71. *...*
 72. *...*
 73. *...*
 74. *...*
 75. *...*
 76. *...*
 77. *...*
 78. *...*
 79. *...*
 80. *...*
 81. *...*
 82. *...*
 83. *...*
 84. *...*
 85. *...*
 86. *...*
 87. *...*
 88. *...*
 89. *...*
 90. *...*
 91. *...*
 92. *...*
 93. *...*
 94. *...*
 95. *...*
 96. *...*
 97. *...*
 98. *...*
 99. *...*
 100. *...*

A CONCORDANCE OF SPOKEN LANGUAGE

CONTENTS

The data were collected from the "Research in the Colloquial Japanese",
"A Research for Making Sentence Patterns in Colloquial Japanese (1) (2)",
and "Sokki Sosyo - Koudan enzetusyu".

The Concordance is stored on 75 microfiches and it runs to 7,275 pages. The
original data are stored on 8 microfishes.

THE NATIONAL LANGUAGE RESEARCH INSTITUTE
TOKYO

1990

M

1001